

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	UIターンと地元就職促進事業
事業主体 (連絡先)	高森町
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,028,500 円 (うち支援金: 822,000 円)

事業内容

- ①主に町内中学生の地域学習の一環のため、町内企業を紹介するパンフレットを作成した。
- ②町がターゲットとしているUターン者を獲得するためのパンフレットを作成した。
- ③地元から離れた方とのつながりを維持するため、進学や就職などで高森町を離れた方とのオンライン交流会を開催した。



【オンライン交流会の様子】

【目標・ねらい】

事業効果

- ①将来的な街への愛着度や、地元就職希望者の増加という点においてはすぐに結果が出るものではないが、パンフレットについては、中学生やその保護者から、「町にこんな企業があるのを知らなかった」「具体的に何をしてるかを知らなかった」など、パンフレットで地元企業の事業を広く知ってもらえる手助けになった。
- ②実際に移住を考える方に紹介した実績はないが、今後はまちの移住促進事業や南信州広域連合を中心とする「南信州暮らし応援隊」の活動において、移住フェアや関係人口へのアプローチをする礎ができた。
- ③関係性の維持だけでなく、それぞれの学生や若者が、就職地や居住地に関して色々な考えを持っていることを知ることができた。

- ①中学生やその保護者等に地元企業に対する理解を深めてもらう。
- ②高森町から離れた方や、高森町への移住を検討する方に、高森町を深く知ってもらう。
- ③高森町から離れた若者等との関係性を維持拡大する。

※自己評価【A】

①②については、パンフレットの作成のため、成果は予定通りだが、①については、購読者から反響があったこと、また③については交流という目的以上に、若者の考えや今後の町政への活用なども踏まえ、目標以上の成果となった。

今後の取り組み

高森町の移住施策は、Uターンを基礎として、高森町に愛着を持つ人をいかに増やすかが課題となっており、今回の3事業は、すべてその課題に直結する事業やパンフレットの作成となった。特に、若者とのオンライン交流会においては、やはり都会にしかない魅力や職業数が少ないというデメリット以上に、高森町に住むことを考える方が増えるには、愛着がある人を増やすしかないという、町の感じる課題と同じ意見が多く出た。①については変わらずキャリア教育に活用し、将来の地元就業希望者の増加を狙い、②については、たかもりボンズ（町の関係人口認証制度）とのかかわりや、各出先機関へのパンフレット設置などを図る。③については、新型コロナの状況によるが、リアルでの交流会を都市部で開催するなど、さらに関係性を深めていくような活動をしていきたい。